

センター月だより

〒 507 0034 多治見市豊岡町 55 まなびパーク4F TEL 0572-23-3455 FAX 0572-26-8813

指導日誌より

= 瑞浪地区 =

釜戸町夏祭り終了後に巡回。駅には迎え待ちの子どもが多数いたので、早めの連絡、帰宅を促した。(8/1 釜戸 G)

夏休みの土曜日で賑わしいかと思っただが、公園も駅周辺も人はまばらで落ち着いた雰囲気だった。まだ明るさは残っていたが、無灯火の自転車が気になった。(8/1 明世 H)

七夕まつり後のためか、すいがら等ごみが多数落ちていた。夏休み中のため、高校生等学生の姿は見かけなかった。(8/11 土岐 C)

猿爪区夏祭りの会場周辺を巡回。本町通りに夜店が出て、小中学生はそちらを中心に歩いていました。あいさつしてくれる子もいて、みな楽しんでいるようでした。(8/15 陶 E)

雨天のためか人通りが少なく、コンビニ等も客が少なめようでした。小中高生の姿もほとんど無く平穏でした。..家で宿題に追われているのかも..(8/17 稲津 F)

パロー近くの白山神社に高校生 5人が自転車で集まり花火を行っていた。人家も近く夜もふけてきているので、火の後始末をきちんとして帰宅するよ

う指導した。(8/18 日吉 I)

男女高校生 3人が川原で花火をしていた。注意すると素直にやめ移動して行った。パロー中央店裏地下通路の壁面に落書きがあった。(8/24 土岐 D)
(落書きはボランティアの方によって 9/5 に消されています。)

= 多治見地区 =

昭和 small グランドにて、夏まつりが開催。気温が上昇する中、屋台、ゲームコーナーには子どもたちや家族連れ、多くの人が集まっていた。(8/1 昭和 4)

「笠原いこまい祭」の巡回。多くの子どもたちが参加していた。声をかけると元気な声であいさつを返してくれた。(8/1 笠原 13)

中学生がインターモールにてゲームをしていたので声かけ。保護者が見当たらなかったため、早く帰るように声をかけた。(8/4 小泉 5)

駅前交番に立ち寄り話をお聞きすると、この夏が多治見の暑さで、駅周辺でたむろしていた若者たちがいなくなったとのことでした。(8/11 南姫 9)

盆休み中で、子どもの姿も少なかった。福祉センターの日陰で遊んでいた子どもたちが元気にあい

◇◇◇ 声かけ活動の結果 ◇◇◇

	8 月				夏休み夜間特別活動			
	多治見	瑞浪	土岐	合計	多治見	瑞浪	土岐	合計
指導人数	3	12	0	15	0	3	0	3
声かけ人数	337	115	138	590	519	113	198	830
指導員参加者	61	35	34	130	78	38	38	154

さつを返してくれました。(8/15 池田 6)

根本交流センターでは卓球教室が行なわれており、そこに何人かの児童が熱心に参加していた。(8/19 根本 10)

外に出ている子は少なかった。児童館には小中学生が20名ほどいて元気にすごしていた。公民館では勉強している児童がいてがんばっていた。サポートしておられる方に感謝です。(8/20 養正)

天気の良い日に出歩く子どもたちは少なかった。まなびパークでは子どもたちが夏休みの宿題に追われている様だった。(8/20 脇之島 12)

夏休みも終わりに近づき子どもたちが少なかった。出会った子どもたちのあいさつは元気が良かった。今回も2コースに分かれての巡回が出来、多くの場所が回れました。(8/22 北栄 1)

= 土岐地区 =

土岐市駅のコンビニは特に異常はないとのことでした。駅員さんの話では、最近単車で暴走する(エンジンをふかす)少年がいて迷惑しているとのことでした。時間帯は毎回違うらしい。(8/5 泉 8)

駄知公園に小学生らしい男女が9人いた。暗くならない前に帰宅するよう促した。(8/6 駄知 5)

「土岐津ござらっ祭」の巡回をした。多くの児童生徒が、マナーよく祭りに参加していた。家族連れが多く、高校生は少なかった。(8/8 土岐津)

夏祭りの終了後、巡回をしました。ゆかた姿の小学生の男女に、まっすぐ家に帰るよう声かけしまし

た。遊歩道は暗くて歩きづらいものでした。(8/15 下石 2)

お店を中心に巡回しました。小中高生が父兄の同伴無しで来店していることもなく、パチンコ屋さんにも青少年は見かけませんでした。公園にも人はおらず、夏休みも終わりに近づき、外出している子どもが少ないのかな、という感じでした。(8/24 泉 7)

平成公園の休憩所に中高生の男子が5人いました。早めに帰るよう指導しました。(8/28 下石 2)

目線を同じに



子どもと目線を同じにして
対等に話をして下さい。
大人は皆、上から物を言い過ぎます。
そして、世の中は生きる価値がある
と感じてもらえるように、
大人が努力しましょう。

(瀬戸内寂聴)

先月、大阪寝屋川市で中学1年の男女生徒が殺害されるという悲惨な事件が起きました。子どもたちの行動に何か気に掛かることがあったら、目線を合わせて声をかけることが大切だと改めて思いました。おせっかいなおじさん、おばさんと思われても、後で後悔するより「何してるんだい？」とひと声かけましょう。寂聴さんも、大人が「努力しましょう」と言われています。それが大人の役割です。

< センターから > もしもの時に 自転車の保険 入ってますか？

自転車事故を起こした小学生の親に、9500万円の損害賠償を命じた判決が下りています。自転車運転する場合も保険が必要という時代です。任意自動車保険や火災保険、傷害保険には本人や他人の「個人賠償責任保険」「個人賠償責任特約」が付いているものがあります。ご自分や家族の保険を一度確認してください。

自転車向けの補償を備えた「自転車保険」も、損保会社や携帯電話会社、一部コンビニ等で個人型・家族型等いろいろなタイプを扱っています。

もしもの時のために、是非検討をお勧めします。

3 地区 合同 研修会

日時 平成27年10月3日(土) 9:45~12:00
受付 (2F ホール前ロビー) 9:30~
会場 土岐市「セラトピア土岐」2F多目的小ホール
講演 『青少年問題における少年鑑別所の役割』
講師 岐阜少年鑑別所 所長 浦田 洋 様

今時の少年たちの一面が分かり、声かけ活動にも活かせるのでは。是非ご参加を！ 指導員さん以外にもお声をかけてください。どなたでも歓迎します。質問事項があれば事前にセンターへ連絡ください。